

## シルバー人材センター事業に関する要望

現在、栃木県におきましては、65歳以上の高齢者人口の増加が続き、令和元年10月1日現在の高齢化率は28.5%と過去最高を記録いたしました。

今後も、少子高齢化の進行とともに、労働力人口の減少が見込まれるなか、高齢者が地域の担い手として生き生きと活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現がますます重要となり、シルバー人材センター事業への期待と、シルバー人材センターの果たすべき役割も一層大きなものとなっております。

そうした中、全国組織である全国シルバー人材センター事業協会においては、令和2年度定時総会に際し、シルバー人材センターの決意と支援の要望を決議し、国等に要望活動を行ったところであり、別紙のとおり決議された要望書を添付いたしますので特段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、栃木県シルバー人材センター連合会におきましては、国や県などの施策を踏まえながら栃木県シルバー人材センター連合第2期中長期計画（後期計画）に基づき、「会員拡大、特に女性会員増の取組推進」、「高齢法第39条の規定に基づく業務拡大を活用した就業開拓の推進」「会員の高齢化に対応した安全就業の徹底」に重点を置いて事業を推進するとともに、各市町のシルバー人材センターの発展に向けた取り組み支援・指導の強化等に努めております。

つきましては、高齢者が健康で生きがいをもって就労することができる機会を確保し、地域社会に貢献するというシルバー人材センター事業の趣旨について改めて御理解をいただき、事業発注の確保などにつきまして引き続き御支援、御協力くださるよう重ねてお願い申し上げます。

令和2年7月30日

公益財団法人

栃木県シルバー人材センター連合会

理事長 富田 哲夫

